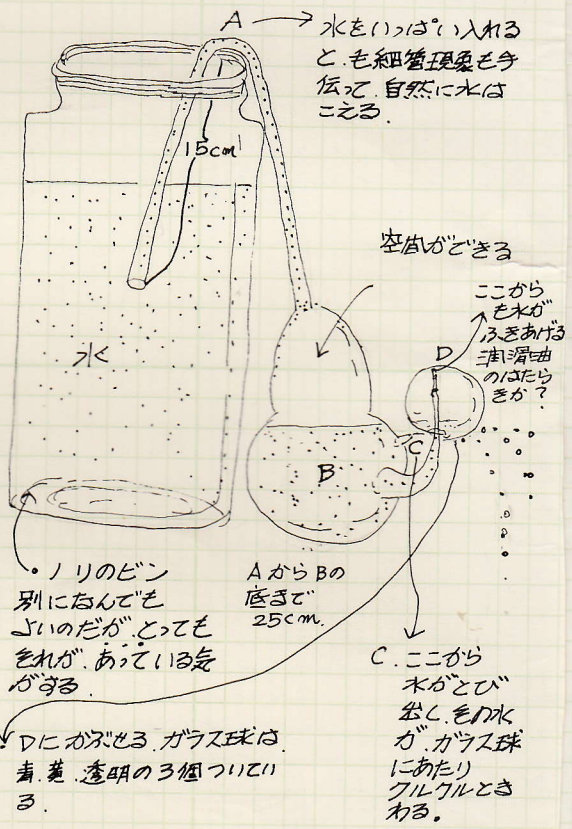


# 明日開業

## 「ガイフォン」の玩具 『ふきあげ』

8月8日、科教協東京大会から帰って、のんびりと、学校へ出かける。  
暑さが、うんと身体にこたえる日である。昼から、ポツポツとあいた時習がどきる。又しどろりに、校区内にある、  
日本玩具博物館(旧・井上郷土玩具館)に寄ってみる。ここへはこれまで、何度かおじゃましている。特に、この正月の夕ゴあげ大会(毎年、1月第1又は、第2日曜に開催、全国的にも有名)に、畳10枚の大風や、各地の珍しい凧に、まじって、ゴミ袋48枚の、ソーラーバルーンを、科挙部の子どもたちとあげた(このとき、新聞、T.Vにも少しだけとりあげてもらった)。それ以来、より興味をもって「こ」を見ている。



その日、館に入ろうとすると、その軒先に、見られぬものがある。「説明」らしきものが、書いてあるが、しかとわかぬ。ただ、「ガイフォン」を利用したものであろうことは、形からわかった。(このとき、まわるべきはずのガラス球がまわっていないかったのだ)。『ほしい人は、受付に申し出て下さい』等1000円、これは競めた。記がわからぬまま、買い求めた。そのとき、「ああ、ふきあげね」と、たしか、奥さんはおっしゃった。